

体操男子

金



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271

Copyright (c) 2016
Yamagata Shimbun

2016年

8月 9日

〈火曜日〉

速電
報版子

やましん e聞

特別号外

購読申し込み

フリーダイヤル
0120-81-8040

■やまがた
ニュースオンライン

yamagata-np.jp

■携帯・スマホ

yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

柔道 大野 V、松本銅



男子団体総合で優勝を決め、日の丸を手に笑顔の（左から）加藤凌平、白井健三、内村航平、山室光史、田中佑典



男子73キロ級で優勝し金メダルを手に笑顔の大野将平



リオ五輪

【リオデジャネイロ共同】リオデジャネイロ五輪第4日の8日、体操の男子団体総合決勝で日本が優勝し、2004年アテネ五輪以来の王座を奪回した。

王座奪回、7度目 体操

1960〜70年代にかけての5連覇と合わせ、7度目の金メダルとなった。

予選はミスが相次ぎ4位だったが、得点を持ち越さない決勝は全6種目に出場したエース内村航平（27）とコナミスポーツⅡが安定

感抜群の演技で引つ張った。19歳の白井健三（日体大）も得意の跳馬と床運動で高得点をマーク。昨秋の世界選手権に続いて中国に勝ち、銀メダルだった08年北京五輪、12年ロンドン五輪の雪辱を果たした。

柔道は、男子73キロ級で2015年世界選手権王者の大野将平（旭化成）は決勝でオランダの松本薫（ベネシード）は3位決定戦で連珍玲（台湾）に優勢勝ちし、銅メダル。地元ブラジルのシルバが優勝した。今大会の日本の「金」は計3個となった。